

学校新聞



北美六ツ



歌は心 届け！ハーモニー（合唱部）

「できた」瞬間

校務主任 岡安美智子

十月に入ると、多くの教室から響く歌声とこの時期ならではの合唱練習が展開される。

あるクラスの練習に参加させていただいたとき、始めて早い段階で少し音色とハーモニーが変わった。「今、さっきとは変わってよくなっただけだ、わかった人」と聞いてみたが、数人しか手が挙がらず、しかも本当は微妙という表情。そこで違う方法も取り入れながら粘り強く練習を進めた。とても素直にがんばる生徒の皆さんの様子に、何とかしたいとの思いが強くなる。しばらくすると、今度は、ぼつちり素敵なハーモニーが響いた。前回と同じく「わかった人」と尋ねると、私が質問した声が終わるか終わらないかのうちに、とびきりの笑顔とともに、ほとんどの生徒の手がザッと挙がった。「できた」喜びをつかんだ瞬間である。

何事においても、「できた」という体験は大切であると思う。生徒の皆さんには、これからも「できた」「わかった」という成功経験を多くし、それを自信にして大きく成長して欲しい。

生徒の皆さんと担任の先生が丸となって創り上げるクラス合唱に一部分でも関わることができ、今年度も音楽教員として多くのことを学ばせていただいた。

文化祭を通して

全員でつくり上げた合唱

一年 廣瀬 結花

一年生にとって、初めての合唱は困難の連続でした。初めは合唱練習もうまくいかず、合唱に対する熱意もあまりありませんでした。でも、毎日練習していくうちに、次第にクラスの心が一つになっていきました。日々、歌詞の意味を考えながら聴く人に届く歌を目指して練習してきました。本番では、このクラスの仲間たちと一緒に最高の歌が歌えて本当に幸せでした。クラスの仲間との絆が深まる行事となりました。



心を一つにして

「挑戦支意」合唱コンクール

二年 渡辺 紗葉里

毎日欠かさず全員で歌練習をしました。移動教室から急いで帰ってすぐに歌いだしたり、三分前着席でも座りながら歌ったり、本気で歌う日々でした。練習を通して歌もクラスも好きだという気持ちが増して、そんな楽しい日々が終わることを考えると涙が出るほど充実していました。賞にとらわれず、団結力を強くすることを目指したからこそその金賞だと思います。支えてくれた全ての方に感謝です。

合唱コンクールを終えて

三年 山本 ひより

「三年生金賞は、三組。」

私たちのクラスが呼ばれた瞬間、嬉しくて涙が出た。練習ではクラスがまとまらず、どう練習すれば少ない時間の中で効率よく進められるのかと悩んだことがありました。しかし、伴奏者やパートナーの協力があって、最後はよい雰囲気の本番を迎えることができました。そして、中学生最後の合唱コンクールで金賞を取ることができ、本当によかったです。このクラスで過ごせる残り少ない時間を大切にしていきたいです。

駅伝部

ここからが本番

駅伝部女子主将 小山 心結

駅伝部女子は、先生方や家族、クラスの子からの応援が力になり、県優勝することができました。二年前からの目標が叶った時は、嬉しさと、ここからが本番という思いが強くなりました。校長先生をはじめたくさんの人が、駅伝部がよい環境で練習できるようにサポートしてくれました。私たちにできることは、日本一を取って、先生方や家族に恩返しをすることです。あと残り少ない時間で必ず駅伝部で六ツ美北の歴史を塗り替え、学校中を笑顔にします。

笑顔で終われるように

駅伝部男子主将 犬丸 誠也

新チームが発足し、最初で最後の全国へつながる大会が終わった。男子としての成績は満足のいくものではなく、悔しさや自分の弱さを知った。西三大会後、練習の雰囲気をよくし、県大会に向けてチームに気持ちが入った。負けを経験したからこそ、チームとして強くなってきたと思う。残りの二か月で力をつけ、男女そろって笑顔で終われるようにしたい。応援してくれる人が喜びを味わえるようにしたい。

表彰記録

◎西三河中学校選手権大会

駅伝競走 女子の部

優勝

第二区区间賞 渡邊有咲

第三区区间賞 小山心結

第四区区间賞 鈴木愛菜

第五区区间賞 小嶋聖來

駅伝競走 男子の部

三位

第一区区间賞 相地一夢

第五区区间賞 渡辺凜斗

◎第33回愛知県中学生英語弁論大会

努力賞 菅 智琳

◎第68回 愛知県中学校駅伝大会

優勝 駅伝部女子 (大会新記録)

第二区区间賞 松山由奈

(区間タイ記録)

第三区区间賞 鈴木愛菜

(区間新記録)

第四区区间賞 小山心結

第五区区间賞 小嶋聖來

四位 駅伝部男子



県駅伝優勝の瞬間